

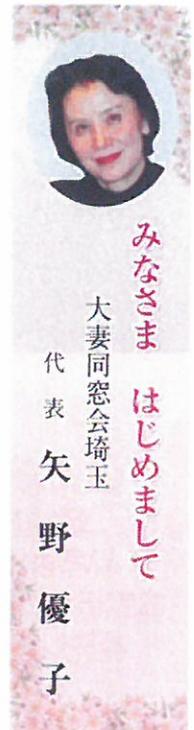
発行者 大妻同窓会埼玉  
代表 矢野優子

発行日 平成27年5月22日

印刷所 成文社印刷  
さいたま市西区指扇246-8  
電話 048(622)1311



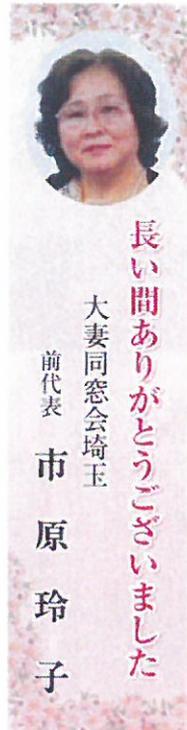
# 大妻同窓会 埼玉だより



みなさま はじめまして  
大妻同窓会埼玉  
代表 矢野優子

会員の皆様はじめまして。  
今度、市原玲子代表のあとを  
引き継ぐことになりました  
矢野優子です。

市原代表は昨冬、突然退任を  
発表され、私たち役員は茫然と  
しこれからどうしようかとと  
まどいました。とにかく伝統と  
格式ある大妻同窓会埼玉の継  
続が責務と役員一同考えまし



長い間ありがとうございました  
大妻同窓会埼玉  
前代表 市原玲子

花見時の快い季節になりま  
した。会員の皆様、いかがお過  
ごしでしょうか。

さて、私こと、昨年の十二月末  
をもちまして、同窓会埼玉代表  
を辞する事になりました。八年  
間の在任中、なんらご期待に添  
えるほどの活躍も出来ませんで  
したが、皆様のご協力と暖かい  
ご支援に支えられて微力ながら  
重責を果たすことが出来ました  
心から御礼を申し上げます。

新代表の矢野優子様は、昭和  
五十一年に文学部国文学科、大  
学院をご卒業され、同窓会埼玉

そして自分たちが出来ること  
をしつかりやっつけていこうと決  
めました。また役員である鈴木  
悦子(蓮田)様も今回退任する  
こととなり、二重の痛手でした。  
お二人の存在は大きく、いつも  
頼りにしておりましたので心  
細さでいっぱいでした。

そんな思いを引きずりながら、  
残された役員は「埼玉だより」

には平成十二年にご入会され  
ました。書記として一年間の行  
事を明確に把握されて、詳細な  
議事録を作って下さいました。  
豊富な知識を持たれ、時代の変  
化や動きを敏感に察し、正しい  
アンテナを廻らせて何事に対  
しても揺るぎ無いご自分の信  
念を持たれ行動される方です。  
ひとの心配事にもそのお名前  
の通り、優しく心を寄せられ、  
私もどれ程の勇気をいただいた  
たことでしょうか。力強い新しい  
風が吹き始めました。  
顧みますと、昭和四十六年に

の編集に取りかかり、本日皆様  
のお手元にお送りすることが  
できました。役員一同ほっとし  
ております。

どうぞこれからも会員皆様  
のあたたかいご支援とご協力  
をよろしくお願い申し上げます。  
また色々行き届かない点が多々  
あるかと思いますが、あたたか  
く見守っていただけたら幸い  
に存じます。

最後にになりましたが、来る七  
月五日(日)  
の総会には是非多くの皆様の  
ご出席を役員一同心よりお待  
ちしております。

埼玉支部が設立されてから  
四十五年の歳月が流れました。  
(その間に同窓会埼玉と改名さ  
れましたが)帯川様よりお預か  
りしたこの大役を、新代表にお  
渡し出来ましたのも、ひとえに  
大妻学院、一般財団法人 大妻  
コタカ記念会、各地方同窓会、  
そして、大切な埼玉の会員の皆々  
様方、全力で支えてくださりな  
がら共に歩んでくださった役員  
のお仲間の皆様方のお蔭で  
ございます。心より皆様のご支  
援、ご厚情に深く感謝申し上げ  
ます。  
何卒、今後共、矢野優子代表を  
中心として、同窓会埼玉を今迄  
にも増してご支援、ご協力を  
宜しくお願い申し上げます。  
本当にありがとうございます。

## 平成27年度 大妻同窓会埼玉の総会ご案内

<p>会場へのアクセス</p> <p>会場案内 川鍋ビル サンパレス 中山道 高島屋 東口 大宮駅 東京方面</p> <p>JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線・埼京線 「大宮駅」東口下車・徒歩5分</p>	<p>日時 平成27年7月5日(日) 受付 10時~10時30分 開会 10時30分</p>	<p>会場 「川鍋ビル」8F大会議室 〒330-0845 さいたま市大宮区仲町 TEL 048-644-1551 一六〇</p>	<p>講演会 講師 岩崎有子様 (保健師・看護師)</p>	<p>会費 五〇〇〇円 同窓会埼玉五年会費 一〇〇〇円</p>	<p>申込方法 同封のがきにて お申し込み下さい。</p>	<p>申込期限 六月末日</p>
---	--	--	---------------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------	------------------



総会に参加して

馬場美知子

七月六日に初めて総会に出席させて頂きました。同窓会のメンバーの方より埼玉で活動している大妻女同窓会があると聞き、なつかしく思い又、フルートの演奏とおいしい紅茶のいれ方などの講義があると聞き楽しみに参加しました。まず、若々しい先輩方のパワーと心のこもった温かい雰囲気にはほっと致しました。久しぶりに素敵なフルートの演奏でヨーロッパ旅行の様な気分になり、紅茶の歴史など、ためになるお話が聞けて、その上、手作りのお菓子まで、大変楽しい気分でした。帰宅致しました。

いっしょに総会を盛り上げていきませんか？  
お手伝いしてくれる方募集しています！



# 韓紙工芸を終えて

お帰りの時は、自分の作品を袋に入れ、満足感と達成感で心がはずんでいるようにみえました。

# 今年の干支「未」について

三年間の計画により、初級・中級・上級として、作品作りをやってきました。  
みなさんが、笑顔で作品に取り組みもうとする姿は、とても生き生きとしておりました。  
横田先生から、韓紙についてお話を伺い、見本を見せて頂きました。参加されたみなさんは、すてきなお皿や箱などに、びっくりされていました。それらを参考にし、自ら色の組み合わせを考えたり、配置を工夫したりしていただきました。



今年の十二支は八番目のひつじ年にあたり、「未」の漢字をあて、干支は三十二番目の己未。「未」は五行では土、方角は南南西、月は六月、時刻は午後二時、また午後一時から三時までの間をいう。

十二支の動物は故事成語や四字熟語にも使われている。しかし、順番や選ばれた理由は定かではない。  
※注 十二支 子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥のこと。

五行 木・火・土・金・水の五元素。古代、万物を生成すると考えられている。

「未」の意味は、木に若い枝がのびた形にかたどった象形。若い・まだ小さいことを表す。漢文では、「未」は(イマダ・・・)と読み下し、まだ・・・でないの否定の語意を表す再読文字。本来の意味からすると、まだ果実が熟しきっていない状態、つまり未熟の意味で、成長途上の植物を表している。



中国では、

ひつじは古くから六畜(馬・牛・羊・豚・犬・鶏)の一つで家畜として親しまれていたので、庶民に十二支を浸透させるため分かりやすい動物「羊」をあてたのではないか。

**あつめて  
まらさ!**

書き損じハガキ、  
使用済・未使用切手  
ベルマーク

※総会当日、受けつけております。

遠かった狭山校舎

Y・M

私が山梨の実家を出て、叔母の家に下宿生活をし、狭山校舎に通ったのは、今から四十五年も前のことです。

叔母の家はさいたま市(旧大宮市)川越線の日進駅より徒歩十分くらいの所にありました。その時の川越線は本数も少なく二両くらいで単線、冬場はドアが手動式でした。私の通学はその日進駅からはじまりました。そこから川越線に乗り川越駅まで行き、徒歩で十五分西武新宿線の本川越駅へ、そして入間川駅でおり、今度はバスに乗り換え入間市駅に到着。ここでやっとスクールバスに乗り学校です。

長い道のりで、二時間半くらいかかったと思います。

狭山校での二年間は通学時間の長さにもめげず、一生懸命学び、多くの友だちをつくりました。私の宝物です。

そして私を娘のように可愛がり、めんどうをみてくれた叔母には今でも感謝しています。



健康豆知識

みなさん「片足立ち」を意識していますか？  
歩く、またぐ、階段の上り下りなど、立っている以外はずべて片足動作です。  
日常生活の基本動作は、片足立ちが基本になっていますので、これを意識的に行うことによりかなりの転倒が予防でき、足腰も鍛えられます。



みなさん、ちょっとした所でつまずき、はっとした事ありませんか？ 意外と家の中があぶない。なぜなら家の中では油断しがちです。以下の点に注意してみてくださいはどうでしょうか。

- 「ぬ」濡れているところは滑りやすい。
- 「か」階段、段差はつまずきやすい。
- 「づけ」片づけていないところは転びやすい。



編集後記

新体制ではじまった今回の会報「埼玉だより」をなんとか発行することができほっとしております。毎年会員数が減少し、少ない予算の中でやりくりも大変ですが、皆様に見て楽しく読んでさらに楽しくという会報をお届けしたく、役員一同頭を悩ませながら作りました。まだまだ未熟ですが、これからさらに研鑽を積み、楽しく読みやすく、皆様に愛される会報をめざしたいと思っております。

◎役員紹介(あいうえお順)

- 沖 幸子
- 荻島明美
- 栗田寿美子
- 小川原芳枝
- 鈴木悦子(川口)
- 竹内久美子
- 中谷壽子
- 中山あやこ
- 矢野優子

総会にはこのメンバーが皆様をお迎えいたします。多くの皆様のお越しを心よりお待ちしております。

ラジオ深夜便2015 2月号のみのり用  
イラスト/井平真理子